
命のタイムリミット

Sorairo 光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

命のタイムリミット

【コード】

N1986G

【作者名】

Sorairo 光

【あらすじ】

命というものに関して思ったこと。命についての詩。

人にもし。

命のタイムリミットがあつて。

そのリミットが目に見えるとしたら。

きつと人は。

誰も「命は大切だ」とか、「命を大切に」なんて、わかりきったことと言わなくなる。

だって、それが当たり前なんだから。

命にすぎり付にじつとすゑでこしょひっ。

でも、命のタイムリミットはわからないし。

目で見ることもしかない。

だからまだ、「あなたが大切だ」とか。

「あなたが必要だ」なんて言ってる私たち。

死んだら、自由になれる。

それはあつてゐる。

死んだら自由になれる。

それは間違ってる。

答えなんてない。

だから、急ぐ必要なんかはないよ。

ゆっくらと見しげなほころいよ。

あなたの命の炎を。

あなたの。

命のタイムリミットを……………。

* * *

命とは不思議なものですよね……………。

何より、人間も不思議な生き物です。

私は誰に言うわけでもなく、語りかけたくなるなんて気がふと湧き上がったりします。

この詩も、誰にも語りかけてはいません。

でも、人に語りかけています。

矛盾しています。

矛盾こそが人なのかもしれませぬ。

矛盾こそが命なのかもしれませぬ。

もしくは、矛盾こそが私なのかもしれませぬ。

何もわからないのです。

右も左も、命も、未来も。

何もわからないのです。

生も死も。天も地獄も。人も運命も。

そして、自分も。

もしかしたらわかっていているのかもしれない。

もしくは、わかった気になっただけで、何もわかっていないのかもしれない。

ただ、宙を、漂ってるだけなのです。

人が、答えがあるかさえわからない。

「生きてる意味」や、「自分は何のために存在するのか」を探すように。

ただ、漂っているのです。

ただ、さまよっているのです。

頭がおかしいんじゃないのか？こいつ。と思った方は笑ってもらってそのまま忘れてください。

そんな考え方もありか。と思った方は、どうかうなずいてやってください。

どうでもいいや。と思った方は、忘れてください。

悲しかったら、泣いてやってください。

おかしかったら、笑ってやってください。

同感できたら、あなたも、宙を漂っているのかもしれない。

どんな評価もそのまま受け入れることしか私にはできません。

ここまで読んでくださった方。読んでくださらなくても、ここに来てくれた方。

皆さんに感謝します。

ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1986g/>

命のタイムリミット

2011年1月1日18時25分発行